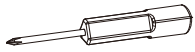
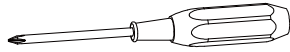


AT式（ミズロック）シリーズ ハンドル交換マニュアル

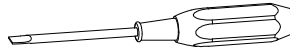
用意するもの



- プラスドライバー(小)
軸径3mm程度のなるべく細く、長いものをご用意ください。



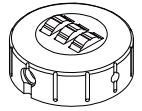
- プラスドライバー(大)
力のかけやすいものが適しています。



- マイナスドライバー



- 六角レンチ
面幅：2mm



- 交換用ハンドル
品番：GH-A2

ハンドル交換作業の前に

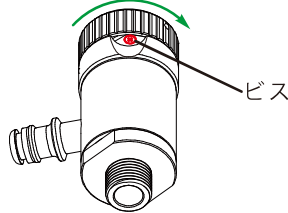
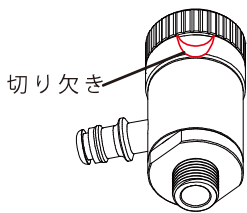
- 止水栓もしくは元栓を閉めてから作業を行ってください。
- ホースが接続されている場合は、取り外してから作業を行ってください。

ハンドルの交換方法

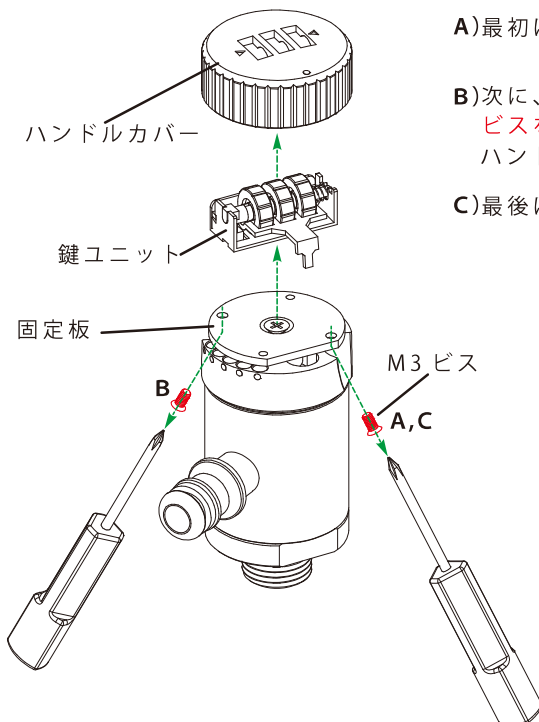
旧仕様ハンドルから交換する場合

<ハンドルの取外し方>

- ①ダイヤルをお客様が設定された解錠番号（出荷時は「000」）に合わせます。
- ②本体の“切り欠き”からビスが現れる位置まで、ハンドルを回します。



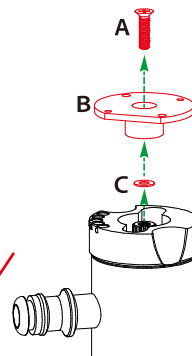
- ③プラスドライバー（小）を挿入し、“M3 ビス”を取り外します。
取り外すビスは2つあります。A～Cの手順に沿ってビスを取り外してください。



- A)最初に、片側のビスを2～3回転ほどゆるめてください。
- B)次に、反対側のビスを外します。
ビスを上を持ち上げるように、押えながら回していくと、ハンドルが浮いていきます。
- C)最後に、Aでゆるめたビスも取り外します。

- ④両側のビスを取り外すと、“ハンドルカバー” “鍵ユニット”が取り外せます。

- ⑤プラスドライバー（大）を使用し、“固定板”、“M4 ビス”、“ワッシャー”を取り外します。
A～Cの手順に沿ってビスを取り外してください。

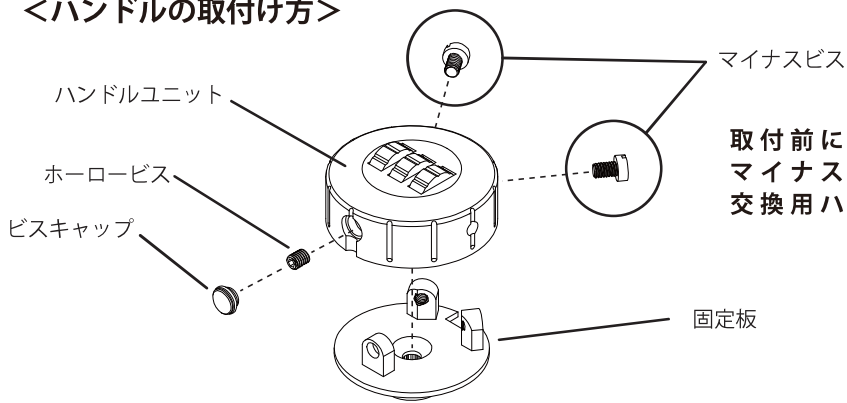


- A)“M4” ビスを取り外します。
※出荷時、ビスは固く締まっております。ビスのプラス穴が潰れないよう注意してください。
- B)“固定板”を取り外します。
- C)“ワッシャー”も取り外します。
※“固定板”の裏面に固着している場合もあります。注意してください。

ポイント

取り外した“ビス”、“ワッシャー”は再度使用しますので、なくさないよう注意してください。

<ハンドルの取付け方>

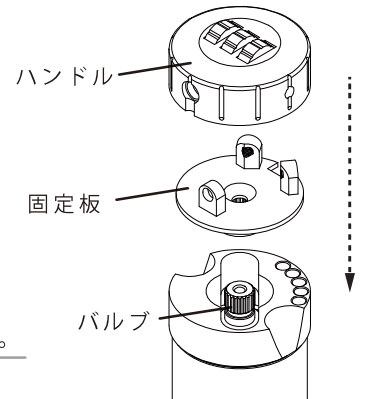


取付前に、
マイナスドライバーと六角レンチを使い、
交換用ハンドルから固定板を取外します。

- ① 固定板、ハンドルを仮置きし、ハンドルを時計回りに回して、バルブを締めます。

※強く締めすぎるとパッキンの経年劣化が早まり、弱すぎると止水が不完全になります。
目安として、バルブが閉まってからさらに30°程度回した位置が適正です。

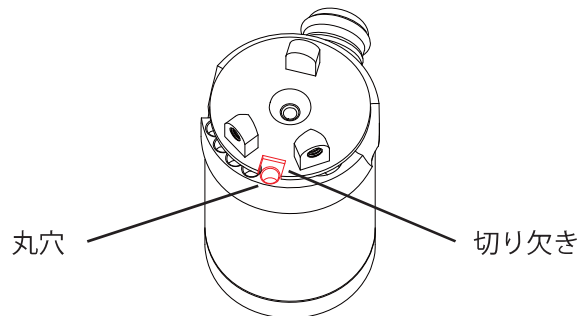
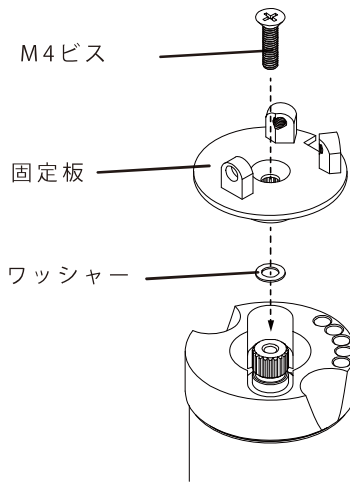
- ② バルブを締めたあとは仮置きした固定板とハンドルを一旦取外しておきます。



- ③ ワッシャーをバルブの上に置きます。

- ④ 固定板を設置します。

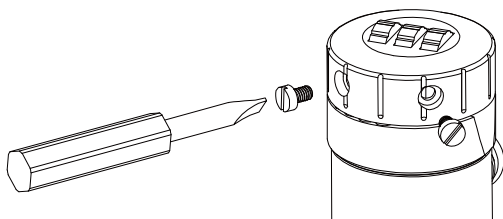
下図の通りに設置してください。



図の丸穴の位置に固定板の
切り欠きがくるように設置します。

- ⑤ プラスドライバー(大)でM4ビスを強く締め付けます。

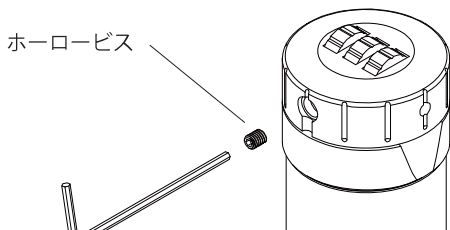
- ⑥ 固定板の突起に合わせてハンドルユニットを設置し、
マイナスネジを2カ所締め込んでください。



- ⑦ 六角レンチでホーロービスを締め込んでください。

※ホーロービスは強く締め込まないでください。
ビスが壁に当たる感触があるまで締め込んでください。

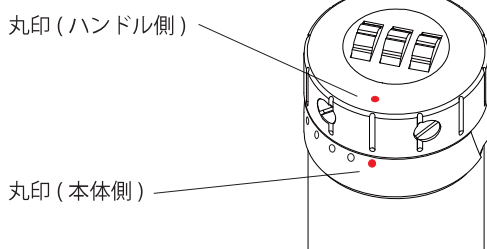
- ⑧ ビスキャップをはめ込んでください。



ビスキャップ

- ⑨ 元栓を開放して、ハンドルと本体の丸印を合わせた位置で
ロックがかけられることを確認してください。

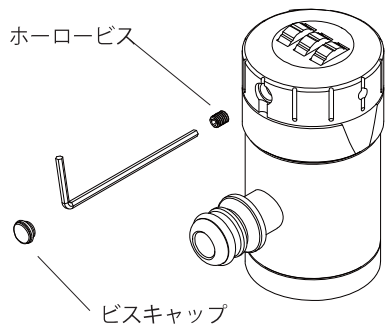
※止水位置がずれる、丸印同士の位置が合わない場合は
②の固定版の取り付けから再度やり直してください。



ポイント

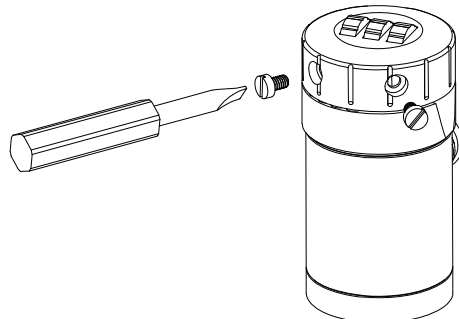
交換用ハンドルの解除番号は
出荷時「000」に設定されています。
再度任意の番号に設定してください。

<ハンドルの取外し方>

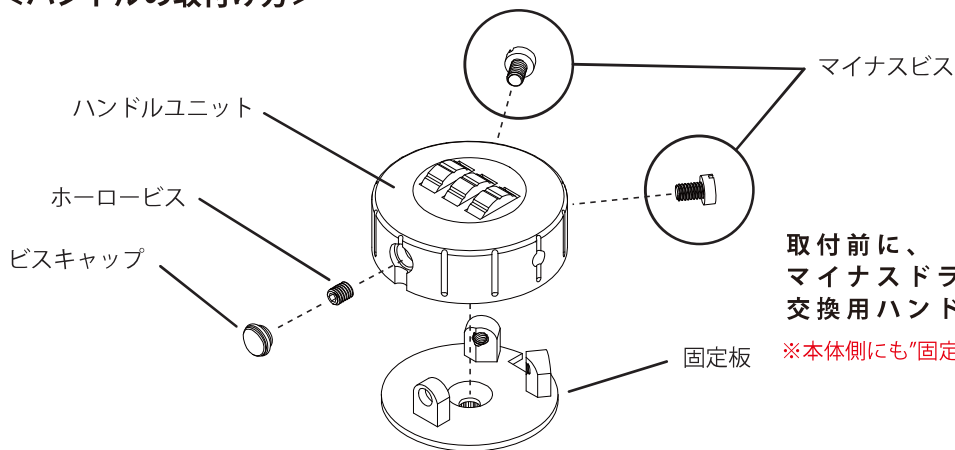


- ① ビスキャップを取外します。
- ② 六角レンチ(面幅2mm)を使ってホーロービスを取外します。

- ③ マイナスドライバーを使ってビスを2カ所取外します。
- ④ ハンドルを持ち上げて取外します。



<ハンドルの取付け方>



取付前に、
マイナスドライバーと六角レンチを使い、
交換用ハンドルから固定板を取外します。
※本体側にも"固定板"がついていますので、今回は使用しません。

- ① 固定板の突起に合わせてハンドルユニットを設置し、
マイナスネジを2カ所締め込んでください。

- ② 六角レンチでホーロービスを締め込んでください。

※ホーロービスは強く締め込まないでください。
ビスが壁に当たる感触があるまで締め込んでください。

- ③ ビスキャップをはめ込んでください。

- ④ 元栓を開放して、ハンドルと本体の丸印を合わせた位置で
ロックがかけられることを確認してください。

ポイント

交換用ハンドルの解除番号は
出荷時「000」に設定されております。
再度任意の番号に設定してください。

